

ナリワイ



農業コンサルタントとして活動を始めて8年。「日本農業を強くする」ことを目指して農業専門コンサルティング会社を立ち上げた。メンバーはちょっと10人を超えた。拠点は東京ながら、信越地域との関係は結構深い。連載にあたり、今回は自己紹介としたい。

長野県主催の「信州農業MBA研修」では、総合的

熊本伊織 熊本伊織 熊本伊織

熊本伊織 熊本伊織 熊本伊織

農業ビジネス

企業と対等な立場で

な企画と専任講師を務めさせていただき3年目を迎える。JAグループの青年部協議会やPALネットなどのからは講演依頼を毎年いただき、志向の高い農業者との交流と、信州のおいしい食材と酒を楽しみに訪問している。新潟県でも同様に講演に呼んでいただき、経営指導をしていた私は、この出会いから180度方向転換。日本人の皆が農業と食の本質と向き合うことで農業を再生できると確信し、農業専門の経営コンサルタントになると決めた。

中小企業向けに農業ビジネス参入の講演を始めたのは08年から。農地賃借のた

——と、何でもやった。自立場で取り組むかにある。企業の戦略が優先されると地域ではうまく進まない。対等であるには、農業側にも戦略をもって議論する「経営」感覚が必要になる。価値あるビジネスを成立させるには、広い視野で中期ビジョンをもって未来を描き、目前のことを着実に進める力が重要だ。

第一に進め 経営力をもった若手農業者を輩出するために、農業経営者育成を支援し始めたのが09年。経営理念づくり、マーケティング、人材採用・育成などの組織論など経営に関する講義を行っている。

熟生は全国で400人を超えた。優秀な社員に恵まれ、妻子も応援してくれている。志の高い生産者と確信している。

何度となく新鮮な魚と日本酒で夜更かししている。

農業との出会いは2007年。何気なく訪問した群馬県で、ある農家と出会った。自然循環の仕組み、酵素や菌などの話にひき込まれた。人材ビジネス企業の

くまもと・いおり 農業支援。長野県内では、なが経営コンサルティング会社の企業の農業経営実践塾「コネクト・アグリフード」(2011年)の企画・講師、信州農業MBA研修(12年)の総合企画・専任講師など歴任。

の経営力強化と収益向上、国や県、JAの農業振興を

信越新聞 2014年4月10日(木曜日) 10頁